

「家計と商談のシミュレーションゲーム」

－身近な経済活動を擬似体験し、その意義を知る－

東京都目黒区立第二中学校教諭

三枝利多

事例の 位置付け	実 施 学 年	第 3 学年
	教 科 等	社会科公民的分野
	単 元 名	私たちの生活と経済（家計）

ね ら い

- 1
- 家計のシミュレーションや模擬商談を通じて、身近な消費生活を考え、経済活動の意義を理解させる。
- 2
- 資料を活用しながら擬似的な活動を通じて、消費生活などの経済活動が、さまざまな条件のなかで価格を考慮しつつ、選択を通じて行われることに気づかせ、その重要性を理解させる。
- 3
- 擬似的な活動を通じて関心・意欲を高めるとともに、経済活動へのさまざまな見方・考え方を広げさせる。

展開の特色

- 1
- 学習指導要領における公民的分野（2）の中項目「ア 私たちの生活と経済」の趣旨を生かしながら、経済で学ぶ大きな三つの内容である「家計の経済活動」、「企業の経済活動」（主に中項目アに含まれる）、「政府の経済活動」（主に中項目「イ 公民生活と福祉」に含まれる）という経済学習全体の導入単位として位置づけた単位である。
- 2
- 本単元を導入単位として工夫することによって、以下に続く「企業の経済活動」と「政府の経済活動」の学習をより効果的にするねらいがある。従って、本単元と続いて学習する「企業の経済活動」の単位を通して、中項目「ア 私たちの生活と経済」の趣旨を実現する設定となっている。
- 3
- 経済学習全体の導入単位として位置づけた単位であることから、生徒の興味・関心を高めるような学習活動の工夫が必要となり、家計のシミュレーションゲームを授業展開に取り入れることとした。この家計のシミュレーションゲームでは、使用している数字やデータなどが架空の設定であり、実際に営む家計はそれほど単純なものでもないが、家計のシミュレーションゲームを通して生徒自身が家計を擬似体験することで、生徒自身が家計を自分に引きつけて感じたり、考えたりすることができると考えた。
- 4
- この家計のシミュレーションゲームを通して生徒自身が抱いたさまざまな疑問や課題意識を出発点として、貯蓄と金融機関や金利について考えることを含め、生徒自身の今後の経済学習への取り組みが、より主体的・意欲的になることを期待した。
- 5
- 家計のシミュレーションゲームを通して培われた生徒の疑問や課題意識を、さらに高めることができるように、実際の企業の方との模擬商談を授業に取り入れることとした。模擬商談という活動を通して、家計のシミュレ

本時の展開

（第1次 第2時 〈本時①〉）

	学 習 内 容	学 習 活 動
導入	① 授業の進め方	○本時の進め方について、教師の説明を聞く。
展開	② 家計の設計(各支出項目を決定していく)	○自分たちが将来独立して家計を営むことを想定した、シミュレーションを以下の条件で行えるように、個人で条件を想定した後、各グループごとに話し合 って、条件を決定していく。

ーションゲーム以上に価格によって消費行動が影響を受けることを実感させることができたり、「企業の経済活動」など、これからの経済学習への広がりをもたせることができると考えた。

構 成

- 第1次 （2時間）
- （1） 家計の基本的事項（1時間）
- （2） 家計のシミュレーションゲームの準備（1時間）〈本時①〉
- 第2次 （4時間）
- （3） 家計のシミュレーションゲーム（1時間）〈本時②〉
- （4） 家計の見直しと模擬商談の準備（2時間）
- （5） 模擬商談（1時間）〈本時③〉
- 第3次 （1時間）
- （6） まとめ（1時間）

事前の準備

- ・本時①（第1次 第2時）の事前の準備として、第1次 第1時に、ワークシートを使いながら、家計の基本事項を学習していく。その際、授業の最後に、自分の生涯にはどのような支出があり、どれくらい
の金額がかかるのかを予想し、次時の家計の設計への意欲を膨らませておく。

次時の予告,用意

- ・本時③（第2次 第4時）の次時（第3次 第1時）に、これまでの家計のシミュレーションゲームや
模擬商談を通して分かったことや疑問に思ったことをもとにして、経済活動の意義や原則について、個
人の考えをまとめさせていくことを予告し、考えを整理させておく。

- 本時の目標
- 1
- 家計の支出の内訳は、収入によって制限を受けることに気づく。
- 2
- 家計の支出の内訳は、それぞれの家庭の家族構成や状況によって決まっていくことを認識する。

教師の支援, 指導上の留意点	資 料
・わかりやすい説明を心がける。	・ ワークシート NO.1 (→ p.94)
・各支出項目の内訳は、それぞれの家庭の家族構成や状況によって決まっていくことを、具体的な条件で選択し、決定していく過程の中で認識させるようにする。	・ ワークシート NO.1 (→ p.94)

	学 習 内 容	学 習 活 動
展 開	② 家計の設計（各支出項目を決定していく）〈つづき〉	条件 家族構成は父，母，長男（中2），長女（小2） 年収で840万円（5年間の平均），（ボーナスも含めた）年収の合計を12で均等に割り，月の収入は70万円 項目例 住居費 Aコース：一戸建て…月のローン返済は20万円 Bコース：マンション…月のローン返済は12万円 Cコース：賃貸…月の家賃は8万円 税金等：すべて月12万円 預貯金：自由に設定できる。但し月の収入の総額を越えない。 ○各グループが決めた家計の支出の条件をワークシートに記入する。
ま と め		○各グループが決めた条件で，5年間生活をすすめ，ワークシート（シミュレーションゲームの家計簿）に記入する。

教師の支援，指導上の留意点	資 料
・各支出項目の内訳は，それぞれの家庭の家族構成や状況によって決まっていくことを，具体的な条件で選択し，決定していく過程の中で認識させるようにする。 〈つづき〉	・ ワークシート NO.1（→ p.94） ・ ワークシート NO.2（→ p.95）

● 本時の展開

（第2次 第1時 〈本時②〉）

	学 習 内 容	学 習 活 動
導 入	① 授業の進め方	○本時の進め方について，教師の説明を聞く。
展 開	② 家計のシミュレーションゲームの実施	○各グループが決めた条件で，家計支出のシミュレーションゲームを行う（各グループごとに右の項目例のようなカードを引き，家計簿に記入しながらゲームを進める）。
ま と め	③ シミュレーションゲームの結果発表	○各グループの結果を聞き，例えば，「衣料費が多すぎて毎月の預貯金が少なすぎた」など，改善点等を考えるきっかけとする。

- ★ 本時の目標
- ① 家計のシミュレーションゲームに意欲的に取り組む。

② 日常の消費生活などの経済活動が，さまざまな条件のなかで選択を通じて行われることに気づく。

教師の支援，指導上の留意点	資 料
・分かりやすい説明を心がける。	・ ワークシート NO.2（→ p.95）
・ゲーム進行の際に起こりうる項目を教師が考えて用意しておく。 カードの項目例 ・外壁の塗り替えで200万円支払う（住居費Aコース）。 ・水回りの修理をして，60万円支払う（住居費Bコース）。 ・賃貸の更新契約があり，16万円支払う（住居費Cコース）など。	・ ワークシート NO.2（→ p.95）
・次時に家計を振り返る際に役立つように，各グループのケースと比較しながら考えるようアドバイスする。	・ ワークシート NO.2（→ p.95）

実際の生徒（グループ）の選択例

設計した家計

- 住居費 Aコース：一戸建て 月のローン返済20万円
- 食費 Bコース：月15万円 ○衣料費 Bコース：月2万円
- 水道・光熱費 Cコース：月1万円 ○交通・通信費 Cコース：月2万円
- 教育費 Bコース：月4万円 ○教養・娯楽費 Cコース：月2万円
- 自動車 Bコース：保有 月のローン返済2万円 ○税金等：一律12万円
- 保険 ・生命保険 月2万円 ・自動車保険 月1万円
- 預貯金：月2万円 ○小遣い等：月4万円 ○ペット等：月1万円 *合計：月70万円

シミュレーションゲームの結果例

- シミュレーションゲーム開始時の預貯金 120万円（設計した家計の毎月の預貯金×5年間分）
- シミュレーションゲームでの進行上での支出
○住居費：275万円（外壁の塗り替え等） ○食費：5万円（お祝い等）
○衣料費：5万円（お祝い等） ○水道・光熱費：1万円（猛暑の結果）
○教育費：170万円（兄の大学入試等） ○教養・娯楽費：10万円（国内旅行）
○自動車：120万円（新車に買い換え費用の一部）
- シミュレーションゲームでの進行上での収入
○税金等：22万円（減税等） ○預貯金：120万円（設計した家計の毎月の預貯金×5年間分）
- シミュレーションゲーム終了時の家計の収支 *－324万円

1.生活設計・家計管理

ワークシート No.1

公民ワークシート

年()組()番()・()班

1. 前時で選択した各項目のコースを確認しよう。
2. 月収70万円（年収840万円の12等分）として、
選んだコースの場合、1ヶ月の総支出がいくらで、預貯金がいくらかを確認しよう。
→自分の班の1ヶ月あたりの預貯金額 万円
3. 5年間で預金はいくらになるかを計算する。（ア×12ヶ月×5年間）
→自分の班の預金額 万円
↑
(この額からゲームをスタートします)

年	月	カード内容メモ	臨時収入金額	臨時支出金額	預貯金残高	満足度	我慢度
					イ		
2004年	1・2月						
	3・4月						
	5・6月						
	7・8月						
	9・10月						
	11・12月						
2005年	1・2月						
	3・4月						
	5・6月						
	7・8月						
	9・10月						
	11・12月						
2006年	1・2月						
	3・4月						
	5・6月						
	7・8月						
	9・10月						
	11・12月						
2007年	1・2月						
	3・4月						
	5・6月						
	7・8月						
	9・10月						
	11・12月						
2008年	1・2月						
	3・4月						
	5・6月						
	7・8月						
	9・10月						
	11・12月						
5年間の収支残高の合計と満足度・我慢度の合計							

4. ゲームをやってみての感想や、自分たちの班の家計の良かった点や改善点を班で話し合おう。
班で出た意見を、下書き出してみよう。

感想

良かった点

改善点

ワークシート No.2

公民ワークシート

年()組()番()・()班

自分の望む家計を設計しよう（シミュレーションゲームの準備）

*家族構成 父，母，長男（中2），長女（小2），その他（祖父，祖母など）
*年収 840万円

1. 次の各支出項目について、
それぞれAコース・Bコース・Cコースの中から1つのコースを選択し、赤丸をつけていこう。

項目	コース	Aコース	Bコース	Cコース	備考
住居費		一戸建て 月のローン返済は 20万円	中古マンション 月のローン返済は 12万円	賃貸 月の家賃は 8万円	
食費		食い道楽 月20万円	一般的 月15万円	節約 月10万円	
衣料費		着道楽 月5万円	一般的 月2万円	節約 月1万円	
光熱・水道費		快楽 月3万円	一般的 月2万円	節約 月1万円	
交通・通信費		贅沢 月7万円	一般的 月5万円	節約 月2万円	
教育費		私立（2人） 月6万円	公私 月4万円	公立（2人） 月2万円	
教養・娯楽費		贅沢 月7万円	一般的 月4万円	節約 月2万円	
自動車		贅沢 月のローン5万円	一般的 月のローン2万円	保有しない	
税金等		月12万円	月12万円	月12万円	
保険		【生命：月／2万円】【火災：月／1万円】【地震：月／1万円】【自動車：月／1万円】 *地震保険に入る時は、火災保険にも加入しなくてはならない。			
預貯金		()万円 *自由に設定できる。但し、月の収入の総額を越えない。 *預貯金と保険の合計は12万円を限度とする。			
その他		(・)万円 (・)万円 (・)万円 *自由に設定できる。但し、月の収入の総額を越えない。			

- *月の総支出 ()万円
2. 役割分担を決めておこう。
- 父 () 母 () 長男 () 長女 ()
祖父 () 祖母 ()
計算係 () 記録係 () その他 ()